

臨床実習入門 2015 試験問題

- 正しいのはどれか、2つ選べ。
 - 動物性脂肪は不飽和脂肪酸を多く含む。
 - 植物油はリノール酸を多く含む。
 - チーズはカルシウム源となる食品である。
 - 淡色野菜はカロチンを多く含む。
 - 栄養摂取基準とは生理的最低必要量をいう。
- 不適切な輸液で発症するのはどれか。2つ選べ。
 - 悪性貧血
 - Reye 症候群
 - Wernicke 脳症
 - 低ナトリウム血症
 - くる病
- 体重減少が摂食量の低下によらないものはどれか。
 - うつ病
 - 食道癌
 - 消化性潰瘍
 - アルコール依存
 - 甲状腺機能亢進症
- 食事療法の重要性が特に高いのはどれか。
 - うつ病
 - 慢性腎不全
 - 更年期障害
 - 甲状腺機能亢進症
 - 慢性炎症に伴う貧血
- 脱水の徴候として特徴的なのはどれか。
 - 口渇
 - 徐脈
 - 血圧上昇
 - 呼吸困難
 - チアノーゼ
- 体重減少を生じやすいのはどれか。2つ選べ。
 - 脳梗塞
 - うつ病
 - 狭心症
 - 膵癌
 - ネフローゼ症候群
- 下腿浮腫が通常みられないのはどれか。
 - 心不全
 - 急性腎炎
 - 肝硬変
 - 甲状腺機能低下症
 - 痛風
- 不明熱の原因となりにくいのはどれか。
 - 細菌性心内膜炎
 - ネフローゼ症候群
 - 全身性エリテマトーデス
 - 白血病
 - 成人 Still 病
- 発熱患者の診療において誤っているのはどれか。
 - 海外渡航歴を聴取する。
 - 高齢者は易感染宿主と考える。
 - 糖尿病患者は易感染宿主と考える。
 - 悪寒戦慄のあるときは血液培養を行う。
 - 白血球が減少していれば重篤な感染症を否定できる。
- 発熱の原因で2番目に多いものはどれか。
 - 薬剤
 - 感染症
 - 膠原病
 - 悪性腫瘍
 - 良性腫瘍
- 51歳の男性。数日続く高熱と悪寒とを主訴に来院した。2週間前に臀部膿瘍の切開排膿を受けた。体温 39.5°C、呼吸数 221分、脈拍 96/分 整、指先に有痛性の小結節を認める。呼吸音は正常。尿所見：蛋白(-)、糖(-)、潜血 1+。血液所見：RBC 487万、Hb15.8g/dl、WBC 12,800(好中球 76%)。診断に重要な身体所見はどれか。
 - 心雑音
 - 背部巧打痛
 - 腸蠕動低下
 - 肝下縁触知
 - 切開部硬結
- 黄疸を起こしにくいのはどれか。
 - 脂肪肝
 - 肝硬変
 - 肝癌
 - 胆管炎
 - 膵癌

13. 症候とそのとらえ方の組み合わせで誤っているのはどれか。

- a. ショック — 脈拍測定
- b. 脱水 — 舌の観
- c. 浮腫 — 脛骨前面圧迫
- d. 黄疸 — 眼球結膜の観察
- e. チアノーゼ — 眼瞼結膜の観察

14. 閉塞性黄疸患者で尿中に増加するものはどれか。

- a. 蛋白
- b. 糖
- c. ウロビリノーゲン
- d. 抱合型ビリルビン
- e. 非抱合型ビリルビン

15. 閉塞性黄疸による症候でないのはどれか。

- a. 皮膚搔痒
- b. 眼球結膜黄染
- c. 腹部膨満
- d. 濃褐色尿
- e. 灰白色便

16. 56歳の男性。5日前に皮膚の黄染に気がつき、徐々に増強してきたため来院した。尿の色が濃くなり、便の色は薄くなったが、腹痛と発熱は認めない。腹部は平坦、軟で、肝、脾を触知しない。

- a. 腹部X線検査
- b. 静脈性胆道造影
- c. 腹部超音波検査
- d. 上部消化管内視鏡検査
- e. 肝生検

17. 意識障害を起こすのはどれか。

- a. 痛風
- b. 糖尿病
- c. 骨粗鬆症
- d. 変形性関節症
- e. 前立腺肥大症

18. 意識障害の血液検査として適切でないのはどれか。

- a. アンモニア
- b. Ca
- c. リパーゼ
- d. グルコース
- e. BUN

19. 失神発作を起こしにくいのはどれか。

- a. 起立性低血圧
- b. 大動脈弁狭窄症
- c. 僧帽弁閉鎖不全
- d. 洞機能不全症候群
- e. 肥大型閉塞性心筋症

20. 失神をきたさない疾患はどれか。

- a. もやもや病
- b. 睡眠時無呼吸症候群
- c. Adams-Stokes 症候群
- d. 過換気症候群
- e. 起立性低血圧

21. 40歳の男性。通勤途中の電車の中で、突然、周囲がグルグル回って見えるようになり、体のバランスが保てなくなった。更に吐き気、耳鳴りおよび耳閉塞感も出現したので、救急車で来院した。今回は4回目の発作で意識消失はなし。この患者にみられる身体徴候はどれか。

- a. 発熱
- b. けいれん
- c. 眼振
- d. 咳
- e. 過呼吸

22. めまいに耳鳴りと難聴を随伴しない疾患はどれか。

- a. ループ利尿薬による薬物中毒
- b. 突発性難聴
- c. 小脳橋角部腫瘍
- d. メニエル病
- e. 良性発作性頭位めまい症

23. 次のうち耳鳴りを伴わないのはどれか。

- a. 耳硬化症
- b. 前庭神経炎
- c. 音響外傷
- d. メニエル病
- e. 聴神経腫瘍

24. 喀痰について正しいものはどれか。

- a. 心不全では喀痰はみられない。
- b. 気管分泌物は健常人ではほとんどみられない。
- c. 急性経過をとる際には気道系の細菌感染が多い。
- d. 肺胞上皮癌では、喀痰の排出は少量である。
- e. 気管支拡張症では、喀痰の排出は少量である。

25. 咳を伴わないものはどれか。

- a. 胸膜炎 b. 気管支喘息 c. 過換気症候群 d. 慢性副鼻腔炎 e. うっ血性心不全

26. 疾患と徴候の組み合わせで誤っているのはどれか。

- a. 糖尿病性ケトアシドーシス — Kussmaul 大呼吸
b. 喘息発作 — 呼気性呼吸困難
c. Pickwick 病 — 睡眠時無呼吸
d. 過換気症候群 — テタニー
e. 自然気胸 — 患側声音振盪の亢進

30. 62歳の男性。呼吸困難を主訴に来院した。1ヶ月前に呼吸困難が出現し、増強してきた。喫煙は30本/日を40年間、体温36.4°C、呼吸数28/分、脈拍104/分整、血圧132/86mmHg、心音に異常を認めない。呼吸時に胸郭の動きに左右差を認める。左胸部の打診は濁音を呈し、聴診では左肺の呼吸音が減弱している。考えられるのはどれか。

- a. 気胸 b. 肺炎 c. 肺気腫 d. 無気肺 e. 肺塞栓

28. 72歳の男性。1年前から歩行時につまずくようになったため来院した。動作は緩慢で腕はふらずに前傾姿勢で小さな歩幅で歩く。一度歩き始めると小走りになり急に立ち止まることが難しい。この患者の歩行はどれか。

- a. 鶏歩 b. 痙性歩行 c. 間欠性跛行 d. 失調性歩行 e. パーキンソン病様歩行

29. 異常歩行と疾患の組み合わせで誤っているのはどれか。

- a. 鶏歩 — 総腓骨神経麻痺
b. 動揺性歩行 — 筋ジストロフィー
c. 小刻み歩行 — 脊髄小脳変性症
d. ぶん回し歩行 — 片麻痺
e. 間欠性跛行 — 腰部脊柱管狭窄症

問30、31 次の文を読み、30、31の問いに答えよ。

76歳の女性。頭痛、嘔気および嘔吐を訴え、起き上がれないため搬入された。現病歴:定時に起床しないため家族が訪室したところ、「つらくて起きられない」と訴えた。昨夜は通常通り就寝した。

既往歴:30歳から高血圧で治療している。生活歴、家族歴:特記すべき事なし。

現症:意識は清明、身長150cm、体重38kg、体温35.7°C、脈拍120/分整、血圧86/64mmHg、眼瞼結膜に異常認めない。顔色は不良で、苦渋顔貌、眼を閉じて側臥位をとっている。前胸部で皮膚ツルゴール低下し、口腔内は乾燥している。心音と呼吸音に異常を認めない。腹部はやや膨隆し、臍周囲に圧痛がある。打診では鼓音を認める。

30. 初期対応として適切なものはどれか。

- a. 輸液 b. 輸血 c. 抗菌薬投与 d. 利尿薬投与 e. 消炎鎮痛剤投与

31. 初期の検査で適切でないのはどれか。

- a. 心電図 b. 頭部MRI c. 胸部X線検査 d. 腹部X線検査 e. 上部消化器内視鏡検査

問 32、33 次の文を読み、32、33 の問いに答えよ。

25 歳の男性。意識消失発作を主訴に来院した。現病歴:受診日の早朝、車を運転中に便意を自覚した。排便したかったが、我慢をして運転を続けた。ガソリンスタンドに車を止めて、車外に一步踏み出たところで、発汗を認めた。そして頭から血が引いてゆく感じがして気が遠くなり、その場にゆっくりと倒れ込んだ。数秒後に意識は戻り、怪我はなく、歩行することができた。

既往歴：特記すべき事なし。

現症：身長 170 cm、体重 65kg、体温 36.5°C、呼吸数 141 分、脈拍 80/分 整、血圧 100/80 mmHg、眼瞼結膜に貧血はなし。心音と呼吸音とに異常を認めない。神経学的に異常所見を認めない。

32. この患者の診断にもっとも有用なものはどれか。

- a. 病歴 b. 身体診察 c. 血液検査 d. 胸部 X 線検査 e. 頭部 CT

33. このような発作を起こしにくい状況はどれか。

- a. HT b. 排尿 c. 嘔吐 d. 運動 e. 疼痛

34. 感染対策上、空気感染予防策が必要な病原体を 3 つ挙げなさい。

→結核、水痘、麻疹

35. Parkinson 病の症状・徴候を 5 つ挙げなさい。

- ・安静時真性
 - ・無動
 - ・筋強剛
 - ・姿勢保持障害
 - ・便秘
- など